

年頭の挨拶

恩納村長

長浜 善巳



村民の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様には、健康で希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は村長就任以来、恩納村の将来を見据えつつ、子育て支援をはじめ、村民の笑顔がひろがる元気で活力あるむらづくり、そして地域を支える人材の確保・活用等を推進するとともに、観光産業をリードする人材の育成・強化等に取り組んでまいりました。この間、公約で掲げた施策を一つ一つ着実に進めて結果を出せたのも、これも偏に村民の皆様のご理解、ご支援の賜と心より深く感謝申し上げますと同時に、村政を預かるものとしての責任の重大さを再認識し、村民の皆様が真に幸せを実感できるむらづくりを目

指し、決意を新たに村政の発展のために取り組んでまいり所存です。

さて、昨年を振り返ってみますと、未だ収束が見通せない新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、混乱するウクライナ情勢に端を発した原油価格・物価高騰によって、村民の生活や観光関連事業所、小規模事業者を取り巻く経営環境は、厳しさを増しております。その様な中、本村においても原油価格・物価高騰等の影響を受けた子育て世帯の負担軽減を図るため、給付金を支給しております。村といたしましても経済不況・経済危機など、この難局を乗り越え、本村の基幹産業である観光経済を一日も早く取り戻し、景気回復に向けて様々な策を講じたいと思っております。

また、村内においては昭和32年に喜瀬武原小学校として開校以来、輝かしい歴史と伝統を築き地域と共に歩んでこられた本校が、昨年3月末をもって休校となり64年の歴史に幕を閉じることとなりました。長い間、喜瀬武原小学校を温かく見守り支えてくださった地域の皆様をはじめ、学校関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。そして、10月頃から新規陽性者が緩やかな減少傾向にある中、感染予防対策を徹底した上で規模を縮小し3年ぶりに「うんなまつり」、「美ら海花火大会」も開催することができました。世界ウチナンチュ大会では世界各地に

渡ったウチナンチュの皆さんが一同に会して親睦を深めることが出来ましたことは、私の深く喜びとするところであります。ウチナンチュが集い、楽しみ、沖繩の心をいつまでも大切に持ちながら素晴らしい思い出を作って帰られました。また、名誉村民第1号を授与された故・渡久地政信先生、生誕100周年記念事業の一環として、渡久地メロディーを本村の誇りとして形に残し、これからも大切に歌い語り継ぐために南恩納区に顕彰碑を建立するとともに、多くの寄付金・ご支援に改めて感謝申し上げます。

そして、今年も引き続き「サングなど豊かな自然あふれる社会の実現」に向けて様々な事業を展開しながら、SDGsを枠組みとした誰一人取り残さない持続可能なむらづくりの実現と達成に向け、村民、企業、各種団体、行政による幅広い活動を展開しSDGsの達成に向けた普及・啓発活動にも積極的に取り組んでまいります。また沖縄科学技術大学院大学においては、地域の産業振興、企業誘致など地域活性化に向けたスタートアップの誘致・育成等、村民の人材育成や雇用促進の推進に大きな期待を寄せております。

結びに、新型コロナウイルス感染症が一刻も早く収束し、今年も健康で幸せ多い素晴らしい年でありますことを祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。